



《将来に向けた取組方針》

当社グループでは2025年4月に街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」(以下、「本宣言」)を策定し、重点的に取り組む課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを設定しました。

本宣言の下、自然と人・地域を一体で「環境」と捉え、それぞれの魅力が循環し、時を経るごとに輝きを増す「環境」を生み出すという持続可能で豊かな環境のネットワークを日本橋はもちろん、東京、日本全国へ広げ、次の世代へとつないでいきます。

〈具体的取組み事例〉

東京ミッドタウンでは隣接する港区立檜町公園と合わせて、開発面積の約40% (約4ha) が緑あふれるオープンスペースになっており、開発に当たっては、旧防衛庁敷地内に残されたクスノキや桜など約140本の高木を保存・移植。

生育する職種は全部で100種類を超え、管理スタッフが常駐し、きめ細やかなメンテナンスを行っている。



地域の想いをつなぐ



生態系を豊かにする



緑を守り育む

東京都の保護上重要な野生生物種を示す「レッドリスト」掲載の、オオタカ、ダイサギ、トビ、モズを含め、計6目18科25種の鳥類を確認。

〈今後の課題等〉

- ・定期的な生態系調査の実施および、管理の改善への取り組み推進。
- ・生物多様性を身近に感じられる仕掛けの継続的な計画。

〈社会に向けたメッセージ〉

三井不動産グループの

& EARTH